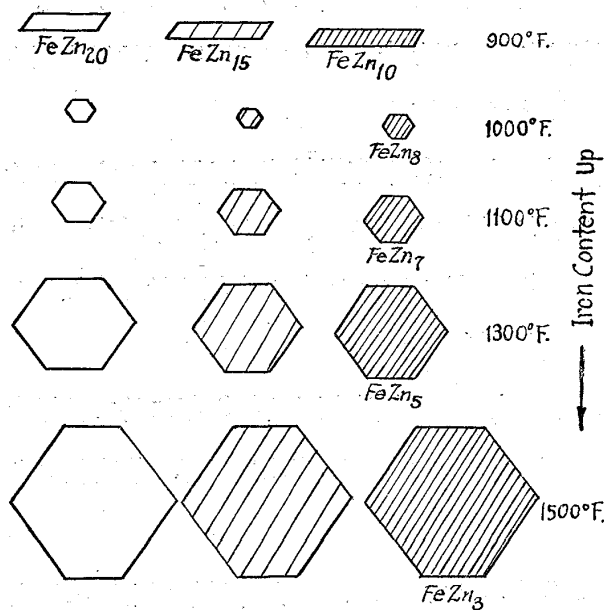


で存す、今 30% の結晶があるものと假定すれば飽和熔亜鉛として 70% が残される、 $Zn-Fe$ 合金即ち $FeZn_{10}$ は約 8% の鐵を含有し飽和亜鉛は約 0.1% の Fe を含む而してドロスは 2.61% Fe を含んでゐるが以上の事柄から鐵分量を知る事が出来る即ち 30% の結晶に對して 8% の鐵、又

70% の亜鉛に對して 0.1% Fe であるから其の全體の鐵含率の平均値は 2.47% Fe となる。

ドロスを加熱する時に最初はドロスが釜の底に固着し次に過熱されて $Zn-Fe$ 合金から Zn が損耗する、圖の如く亜鉛の熔解溫度を $787^{\circ}F$ にする時に生じた $Zn-Fe$ 合金は Zn を 20 分子と Fe を 1 分子からの合金となる、溫度が増すと Fe と Zn の結合は益々強くなり遂に 5 分子の亜鉛を損失して $Fe-Zn_{10}$ なる結合状態となる、 $900^{\circ}F$ 以上に熱する時は其の結晶は菱面體となり細長く針状様の結晶となる、而して $900^{\circ}F$ 以上に熱した時は菱面體から第 1 種六角柱の形に變形する、故に結晶の斷面は六角である、是様にして溫度を高めるに従つて $Zn-Fe$ 合金の Zn 分が減じて Fe 分が増す事となる、此の試験は實驗室に依るものと實際工場に於けるものとの實驗結果が全く一致した。

(岡村貞良)



正 誤

村上武次郎、三神正苗、高マンガン大洲田鋼の加熱による組織及性質の變化 (鐵と鋼 第 17 年 第 3 號) 中の正誤

頁	行	正	誤
212	1	第 3 圖硬度 (Rockwell C)	第 4 圖磁性
"	圖の縦軸	硬 度 數	磁力計の振れ
213	1	第 4 圖磁性	第 3 圖硬度 (Rockwell C)
"	圖の縦軸	磁力計の振れ	硬 度 數